

# KJapan 全自動コーヒーメーカー 保証書

持込修理

本書は、お買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合に、下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

## 〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には無料修理をさせていただきます。  
 (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参・ご提示いただき、お申し付けください。  
 (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、ご相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、ご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間中でも次の場合には原則として、有料とさせていただきます。  
 (イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。  
 (ロ) お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障および損傷。  
 (ハ) お買い上げ後の地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、煙害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。  
 (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。  
 (ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。  
 (ヘ) 本書のご提示のない場合。  
 (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
- 本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料期間修理をお約束するものです。  
 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にお問い合わせください。

※譲渡・転売・中古販売・オークション・個人売買・リサイクル店などによる販売品については、弊社の責任の範囲ではありません。  
 ※保証期間経過後の修理や補修性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

※修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料及びその他の費用はお客様のご負担となります。  
 ※保証の範囲は、修理・交換を限度とします。また、故障その他による逸失利益、その他製品使用上で生じた直接または間接の損害については、その責任範囲に含まれません。

※出張修理を依頼され、本体に原因がないと判断した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。(出張修理対象製品のみ)

ご購入店様へ：必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

品 番	SJM-GT06ACM		
	対 象 部 分	期 間(お買い上げ日より)	保 証 の 条 件
保 証 期 間	本 体	1 年	持 込 修 理
お 買 上 げ 日	年 月 日		
お 客 様	お名前 ご住所 電 話		様
販 売 店	販売店名 ご住所 電 話		印

### ※個人情報の取扱いについて

弊社は、お客様の個人情報の保護に関する法律を遵守し、お客さまの個人情報の保護に努めます。  
 お客様の個人情報は、弊社製品の保証・アフターサービスのために利用し、他の目的には利用いたしません。  
 お客様の同意なしに第三者への開示・提供を行うことはありません。  
 弊社は、お客様の個人情報が適切に管理されるよう、業務委託先に対して指示・監督を行うなど十分な注意を払います。

## エスケイジャパン株式会社

【ご相談窓口】〒818-0063 福岡県筑紫野市桜台 2-23-2  
 TEL.092-921-4210 Eメール: skjsupport@qtk.co.jp  
 電話受付時間 午前10時～午後1時、午後2時～午後5時(土・日・祝日を除く)

# 全自動コーヒーメーカー 取扱説明書



## 品番 SJM-GT06ACM

保証書付(裏表紙)

タイマー  
機能

ミル付き

6カップ

ステンレス  
フィルター

2段階  
仕上げ調節

保温機能  
(30分)

このたびは、全自動コーヒーメーカーを  
 お買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を  
 よくお読みいただき、  
 正しく安全にご使用ください。  
 お読みになった後は、大切に保管していただき、  
 取扱いが不明な場合や、不都合が生じたとき  
 にお役立てください。



上手に使って 上手に節電

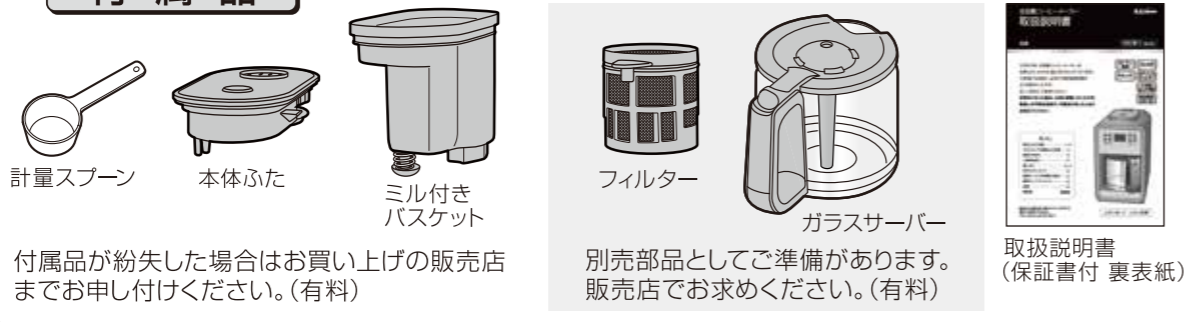
## もくじ

- まず、付属品の確認を…………… 1
- 安全上のご注意…………… 1~3
- ガラスカップの取扱上の注意…………… 3
- 各部のなまえ…………… 4
- ご使用前に…………… 5
- 使いかた…………… 6~7
- 便利な使いかた(タイマー機能)…………… 7
- お手入れについて…………… 8
- 修理サービスを依頼する前に…………… 9
- 修理サービスについて…………… 10
- 仕様…………… 10
- 保証書…………… 裏表紙

製品は日本国内用に設計されていますので、  
 国外では使用できません。  
 FOR USE IN JAPAN ONLY.

# まず、付属品のご確認を!

## 付属品



## 安全上のご注意

※ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
この全自動コーヒーメーカーは、一般家庭用です。これ以外のご使用は、絶対にしないでください。  
この用途及び一般家庭用以外(業務用など)でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不具合については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 表示について

※ここに表示している『安全上のご注意』は、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
『危険』『警告』『注意』の3つに大別してお知らせしています。  
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	<b>危険</b> 取扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を表示しています。
	<b>警告</b> 取扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示しています。
	<b>注意</b> 取扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示しています。

## 表示の例

※お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています(下記はその一例です)。

	▲記号は、『警告や注意を促す』内容のもので、図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)を示しています。
	⊘記号は、してはいけない『禁止』内容のもので、図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。
	●記号は、必ず実行していただく『強制』内容のもので、図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差込みプラグをコンセントから抜く)を示しています。

※お読みになった後も、  
お使いになる方が  
いつでも見られる所に、  
保管してください。

## 危険

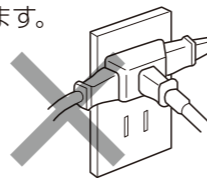
改造は絶対しない。また、修理技術者以外の方が分解したり修理しない。  
●火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、ご相談窓口にご相談ください。



水につけたり、水をかけたりしない  
●感電・ショートのおそれがあります。



定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使用する。また、コードはたこ足配線や延長しない。  
●火災の原因になります。



## 修理サービスについて

よくお読みください

### (1)保証書

●この説明書の裏表紙に保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で『販売店・お買い上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

### (2)修理を依頼される時

「修理サービスを依頼する前に」の表に従ってご確認の後、改善しないときは、まず差込みプラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中でも  
保証書のご提示なき場合、有料修理となる場合があります。

●保証期間を過ぎているときは  
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。  
製品名、品番、お買い上げ日、故障の状況(できるだけ具体的に)をご連絡ください。

### ●修理料金については

修理料金の内容は技術料、部品代となっております。  
[技術料] 故障箇所の診断、修理及び部品交換、調整、修理完了時点検などの作業にかかる費用。  
[部品代] 修理に使用した部品及び補助材料代。

### (3)補修用性能部品の保有期間

このコーヒーメーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

### (4)ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、

ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

●お客様ご自身での分解・修理は危険です。  
修理には特殊な技術が必要です。



### (5)修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買い上げの販売店、または、ご相談窓口にご依頼ください。

## 仕様

### ■コーヒーメーカー

方 式	ドリップ式
最大使用水量	850ml
電 源	100V 50/60Hz 共用
定格消費電力	640W
外形寸法	幅161×奥行320×高さ280mm
質 量	約3.0kg
電源コード	約1.2m
安全装置	温度ヒューズ(216℃)、電流ヒューズ(10A)、サーモスタット

### ■ミル

定格消費電力	150W
最大使用容量	42g(コーヒー豆)*
定格時間	30秒

\*豆の種類や、ばい煎の度合いによって重さは異なります。

●製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。  
●製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

愛情点検	長年ご使用の『コーヒーメーカー』の点検を!
	こんな症状はありませんか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●差込みプラグ・電源コードが異常に熱くなる。</li> <li>●電源コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする。</li> <li>●本体が変形したり、異常に熱い。</li> <li>●ガラスサーバーの取っ手がぐらつく。</li> </ul>
	<p>以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

## 修理サービスを依頼する前に

■異常が生じたときは、下記内容をご確認ください。確認後も症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	おたしかめください
通電しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●差込みプラグはコンセントにしっかりと差し込んでいますか。</li> <li>●電源ボタンをしっかり押し込みましたか。</li> </ul>
コーヒーがドリップしない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●つづけてドリップしていませんか。</li> <li>●空焚き状態にしませんでしたか。</li> <li>●電源を切り、本体が冷めてから、再度、電源を入れてください。</li> <li>●ふたやミル付きバスケットは正しくセットされていますか。</li> <li>●ガラスサーバーは正しくセットされていますか。</li> <li>●給水タンクに水が入ってますか。</li> </ul>
ガラスサーバーに粉が残る ミル付きバスケットから コーヒーがもれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィルターは正しくセットしていますか。</li> <li>●中挽きより細かく挽いたコーヒー粉を使用していませんか。</li> <li>●中挽きのコーヒー粉を使用してください。</li> <li>●コーヒー豆・コーヒー粉を入れすぎていませんか。</li> <li>●フィルターふたが外れていたり、パネ動作に異常はありませんか。</li> <li>●フィルターが外れている場合は、取付け直してください。</li> </ul>
コーヒーが濃い／薄い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お好みに応じて、コーヒー粉を調節してください。</li> <li>●それでも改善しない場合は、ミル付きバスケット、フィルターなどで目詰まりしている可能性があります。</li> </ul>
コーヒーがぬるい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時間の経過とともに冷めていきます。</li> <li>●コーヒーの量が少ないと早く冷めます。</li> <li>●あらかじめコーヒーカップにお湯を注いで温めておくと、コーヒーを注いだときに冷めにくくなります。</li> </ul>
豆が残る(全て粉にならない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミル付きバスケットやフィルター、フィルターふたなどが濡れていませんか。</li> <li>●コーヒー豆を入れすぎていませんか。</li> </ul>
差込みプラグが異常に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンセントの差し込みがゆるくなっていませんか。</li> <li>●ゆるくないコンセントを使用してください。</li> </ul>
ドリップすると プラスチック臭がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。お使いにつれにおいは少なくなります。気になる場合は、本体内部の洗浄をお試しください。</li> </ul>
電源コードに触れると 通電したりしなかったりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードや差込みプラグに傷がついていませんか。</li> <li>●ただちに使用を中止してください。</li> </ul>
水漏れする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ただちに使用を中止してください。</li> </ul>

## 危険

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない  
●火災のおそれがあります。



禁止

差込みプラグはぬれた手で抜き差ししない  
●感電やケガをするおそれがあります。



ぬれ手禁止

ドリップ中やドリップ後しばらくはふたを開けないでください  
●やけどするおそれがあります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない  
●やけど・感電・ケガをするおそれがあります。



禁止

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



指示

●もしも電源コードに損傷がある場合は、すぐにお買い上げの販売店またはお客さま相談窓口にご相談ください。  
修理は必ず資格を持った人が行うこと。

## 警告

電源コードは傷つけたり、束ねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを載せたり加熱したり、加工したりしない



禁止

●電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

お手入れの際は、必ず差込みプラグをコンセントから抜く



●感電やケガをするおそれがあります。プラグを抜く

異常時(煙・におい等)は、使用を中止して差込みプラグを抜きお買い上げの販売店またはお客さま相談窓口にご相談ください。



指示

●異常のまま運転を続けると、故障・感電・火災の原因になります。

差込みプラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合はよく拭く



ホコリを取り除く

●火災の原因になります。

## 注意

蒸気に手を触れないでください  
●やけどするおそれがあります。特に乳幼児に触れさせないでください。



接触禁止

給水タンクに水を入れたまま長時間放置しないでください



禁止

●故障や変色・異臭の原因になります。

ドリップ中やドリップ後しばらくは高温部にふれないでください



接触禁止

●やけどするおそれがあります。保温板・ガラスサーバー・抽出口などが高温になっています。

空焚きをしないでください。給水タンクに水が入っていないときは、スタートしないでください。



禁止

●故障の原因になります。

ドリップ中やドリップ後しばらくは本体を動かさないでください



禁止

●コーヒーや熱湯がこぼれてやけどするおそれがあります。

落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えないでください。



禁止

●破損して感電やけが・やけどの原因になります。

## ⚠ 注意

給水タンクに牛乳や酒、コーヒー、お湯など、水以外の物を入れないでください。



- 故障の原因になります。

禁止

壁や家具の近くで使わない



- 熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない



- 火災の原因になります。

禁止

本体を持ち運ぶときはガラスサーバーを外してください



- ガラスサーバーが落下して破損やけがの原因になります。

指示

このガラスサーバーは、本製品専用です。他の物は使用しないでください。また、ガラスサーバーを他の機器に使用しないでください



- ガラスサーバーが落下して破損やけがの原因になります。

指示

ガラスサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使用しないでください。



- 破損の原因になります。

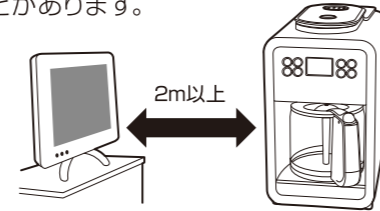
禁止

テレビ、ラジオ、精密機器のそばに置かない。2m以上あける。



- 受信障害など不具合が出る場合があります。

禁止



燃えやすいものを本体の上に載せたり、本体の下に入れて使わない



- 火災の原因になります。

禁止

お手入れは冷えてから行う



- 高温部に触れるとやけどのおそれがあります。

指示

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く



- コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

プラグを持つ

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く



- 誤使用によるやけどや絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

## ガラスサーバーの取扱上の注意

- 直火にかけないでください。
  - 電子レンジ、オーブンレンジで使用しないでください。
  - 傷がつくと割れやすくなります。みがき粉、研磨剤入りのスポンジ、金属たわしなどは使用しないでください。
  - 落としたり、硬いものにぶついたり、衝撃を与えないでください。
  - ガラスサーバーが熱いうちに水の中に入れて、水をかけたり、濡れた場所に置かないでください。
- ※ガラスサーバーが割れた場合は、破片を取り除くときに手を切らないように十分注意してください。

## お手入れについて

- お手入れはこまめに行ってください。また、お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。
- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。部品の変形の原因になります。
- ベンジン、シンナー、みがき粉、ナイロンたわし、金属たわしなどは使用しないでください。表面を傷つけたり、化学変化をおこしたりする原因になります。
- 水洗いした各部の部品は十分に乾いてから本体にセットしてください。

### ⚠ 警告

お手入れの際は、必ず差込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う

- 感電・やけど・けがをするおそれがあります。

### 本体

- 柔らかい布で空拭きしてください。
- 汚れがひどい場合はぬるま湯か中性洗剤を布に含ませ拭き取ってください。また、中性洗剤を使用した場合は、水を含ませた布で完全に拭き取った後、さらに乾いた布で拭いてください。拭き取りの際、強くこすると傷の原因になりますので、ご注意ください。

### 本体内部

- P5「ご使用の前に」1. 本体内部洗浄方法を参照して洗浄してください。
  - ご使用いただくうちに、水のミネラル成分が本体内部に付着します。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄(\*)を行って汚れを取り除いてください。
- ※「本体内部洗浄方法」の③の作業の中で1度だけ給水タンク内の水の中にクエン酸を約15g入れて洗浄を行ってください。
- クエン酸洗浄後は、においを取る為に、通常の本体内部洗浄方法を行ってください。

### ガラスサーバー

- スポンジに食器用洗剤をつけて十分に洗い、水気を拭き取ってください。
- みがき粉、研磨剤入りのスポンジ、金属たわしなどは使用しないでください。ガラスに傷がつき、割れる原因になります。

### ミル付きバスケット、本体ふた

- スポンジに食器用洗剤をつけて十分に洗い、水気を拭き取ってください。
- 抽出口は流水しながら2～3回押し上げて、洗い流してください。

### ご注意

- ミル付きバスケット内部にあるブレードに注意して洗ってください。
- 抽出口にコーヒー粉が詰まったまま使用を続けると、弁が閉まらずコーヒーが漏れることがあります。ご使用毎に必ず洗ってください。

### フィルター、フィルターふた(本体ふた裏面)

- スポンジに食器用洗剤をつけてやさしく洗浄した後、水でよくすすいでください。
- 網目につまったコーヒー粉は、やわらかいブラシなどで、やさしく取り除いてください。

### ご注意

- メッシュ部分を必要以上に強く押さないでください。
- 鋭利な物に触れないようにしてください。破れる原因になります。
- たわしやかたいブラシは使用しないでください。破れる原因になります。

### 差込みプラグ・電源コードの安全点検

- 乾いた布で拭いてください。
- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか?
- 差込みプラグがコンセントに根元まで確実に差し込まれていますか?
- 差込みプラグに異常な発熱はありませんか?
- 差込みプラグの刃および刃の取付け面にホコリが付着していませんか?

## 6. スタートする。

- START ボタンを押してください。(各種モードに応じた動作をします。)ドリップが完了すると「ピーピー」となります。(その後の動作は保温設定の状態によります)

### 途中でドリップを中止するときは

- 電源ボタンを押して「切」にします。
- 出湯が止まり、ドリップが完全に終わってから、ガラスサーバーを取り出します。
- 給水タンクに残った水は、本体が冷めてから給水タンクを取り外して排水してください。

### 続けてコーヒーを作るときは

- 本体及び内部が十分に冷めてから「使い方」の手順で作ってください。

### ご注意

- ヒーターが熱い間は、給水したり、本体を動かしたりしないでください。抽出口から蒸気や熱湯が飛び散り危険です。

### 禁止

ドリップ中やドリップ後しばらくはふたを開けないでください。お湯の飛び散りや蒸気の噴出でやけどをするおそれがあります。

### ご注意

- ガラスサーバーを取り出すときに、保温板にコーヒーが数滴落ちることがあります。
- ガラスサーバーを持ち運ぶ際は、傾けないでください。
- 途中で電源を切っても、本体内部が熱い間はドリップを続けます。
- 給水タンクに残った水を捨てた後、本体を水平に戻すと内部に残ったお湯が本体から少量出ます。やけどに注意してください。

## 便利な使いかた (タイマー機能)

- タイマー設定をする事で好きな時間にコーヒーを作る事ができます。  
※タイマー機能をご使用される場合は、事前にP5「ご使用の前に 3.時刻設定のしかた」を参照し、現在の時刻を設定しておいてください。

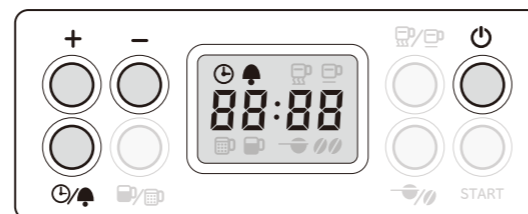
### タイマー設定方法

- ① 電源ボタンを押して電源を入れる。
  - ② 時刻・タイマー設定ボタンを約3秒間長押しする。(タイマー表示アイコンが点滅し、タイマー設定状態となります)
  - ③ 開始したい“時間”を + または - ボタンで設定し、時刻・タイマー設定ボタンを押す。
  - ④ 開始したい“分”を + または - ボタンで設定し、時刻・タイマー設定ボタンを押す。  
(タイマー表示アイコンが点灯し、タイマーが設定され、ディスプレイには現在の時間が表示されます。)
- ※タイマー設定中はディスプレイのバックライトは点灯しています。  
※タイマー設定中に時刻・タイマー設定ボタンを押すとタイマー設定時間が確認できます。
- ⑤ ドリップモード、保温設定、仕上げ設定をしてください。  
(設定した時間になると設定したモードでドリップを開始します。)

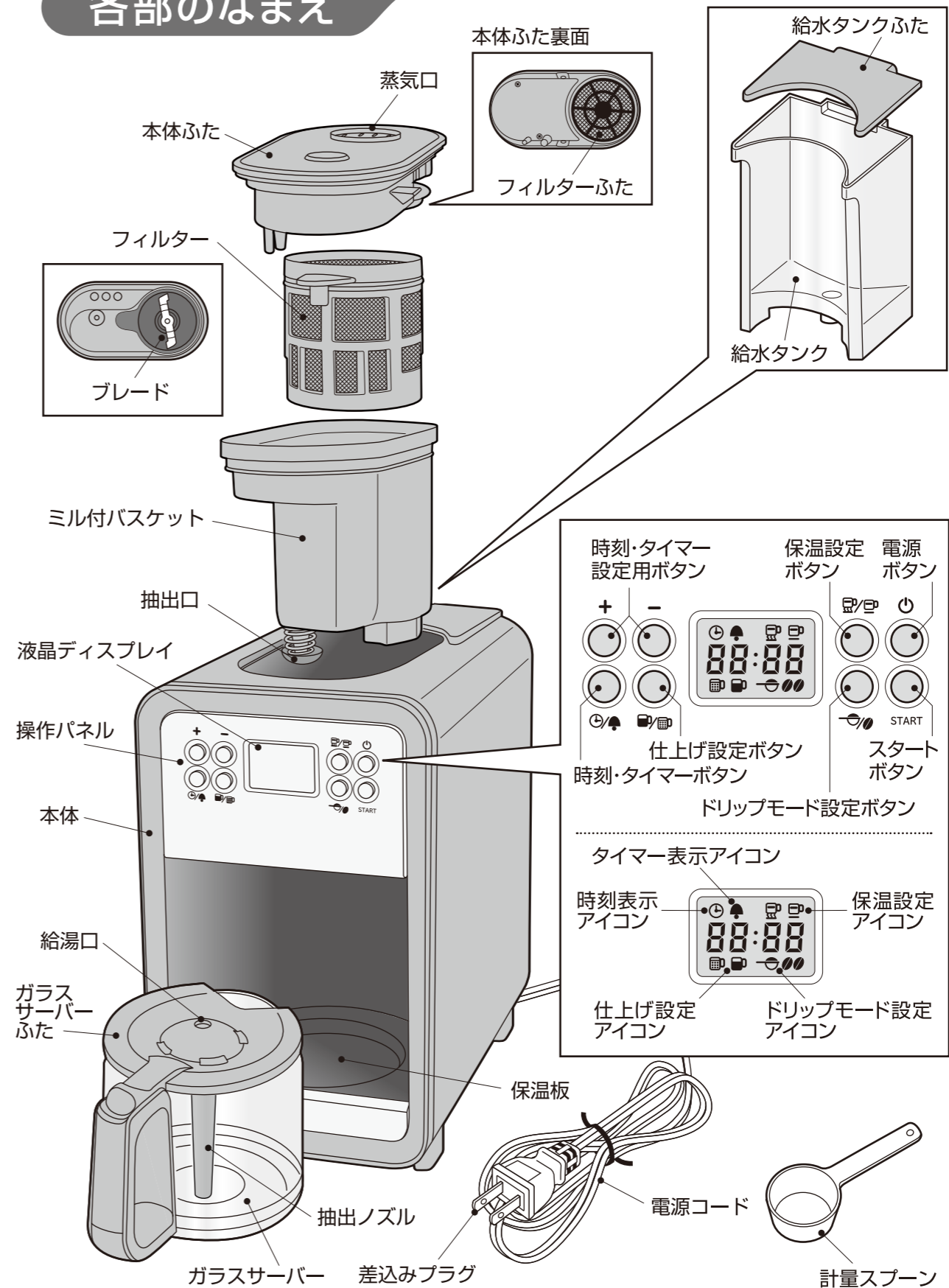
### タイマー解除方法

- 設定したタイマーを解除します。  
タイマーの解除の方法は下の2つの方法でできます。

  - ① 電源ボタンを押す。
  - ② 時刻・タイマー設定ボタンを約6秒長押しする。



## 各部のなまえ







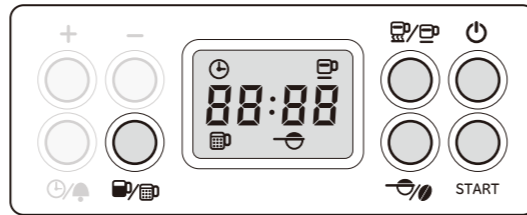
## ご使用の前に

### 1. 本体内部洗浄方法

初めて使うときや長時間使っていなかったときは、次のように内部の洗浄をしてください。  
※洗浄の際は、コーヒー豆やコーヒー粉は入れないでください。

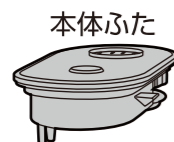
- ①各部品を洗う。(P8「お手入れについて」を参照)
- ②全ての部品を取り付ける。
- ③洗浄をはじめる。

- 差込みプラグをコンセントに差し込み、 ボタンを押して電源を入れる。
- 給水タンクの目盛り「6」まで水を入れて、 (粉モード)  (マイルド)  (保温無し) に設定し START ボタンを押す。
- しばらくすると、ガラスサーバーにお湯がたまります。
- 動作完了後「ピーピーピー」となり運転を停止します。

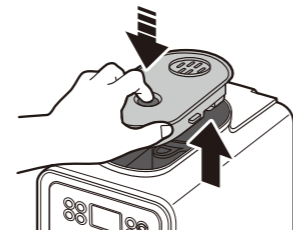


- ④お湯を捨てる。  
●③～④を1～2回繰り返す。
- ⑤洗浄完了。  
●洗浄完了後は各部の部品を十分に乾燥させて取付けてください。

### 2. 各部の取り付け・取り外し方



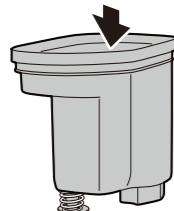
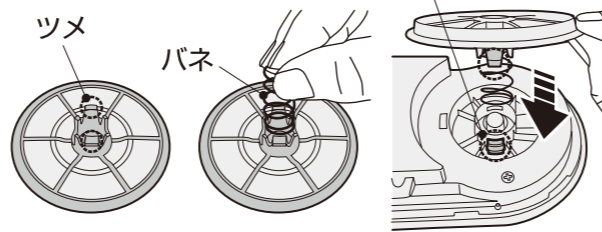
**本体ふた** **【本体ふたの取り外し方】**  
本体ふた取り外しボタンを押しながら上に引き上げます。



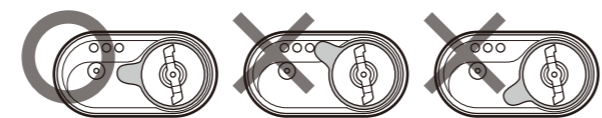
フィルターふたのツメを本体のフックにかける。








**フィルター** **【フィルターふたの取り付け方】**  
バネ部品紛失のおそれがありますので取り外さないことをおすすめします。外れてしまった場合はイラストを参考に取付けてください。



**ミルクバスケット** **【フィルターの取り付け方】**  
フィルターをミルクバスケットの図の位置にセットし、しっかりと押し込みます。



### 3. 時刻設定のしかた

- ①差込みプラグをコンセントに差し込み、 ボタンを押して電源を入れてください。
- ② ボタンを押す。
- ③現在の“時間”を **+** または **-** ボタンで設定し、 ボタンを押す。
- ④現在の“分”を **+** または **-** ボタンで設定し、 ボタンを押す。  
液晶ディスプレイに と設定した時刻が表示されます。



※それぞれの操作で約5秒間無操作の状態になると、設定完了となり操作途中の状態を設定されます。  
※タイマー機能を使用しない場合は、時刻設定無しでもご使用いただけます。  
※時刻設定をした後、差込みプラグをコンセントから抜き、再度コンセントに差し込むと時刻設定は初期状態に戻ります。

## 使いかた

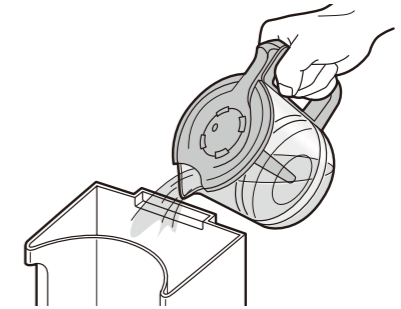
1. 差込みプラグをコンセントに差し込み、 ボタンを押して電源を入れる。

2. 水を入れる

- 水位表示を目安にして、給水タンクに水を入れてください。

#### ご注意

- 水以外のもの(お湯・牛乳・酒など)は入れないでください。
- 給水タンクを取り外して給水した場合は、給水タンクの取付時に水をこぼさないように十分にご注意ください。また、給水タンクは本体にしっかりと取付けてください。

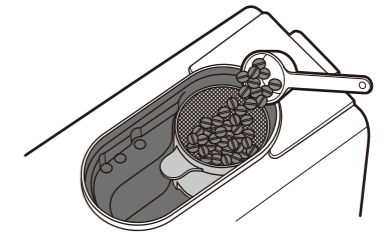


3. コーヒー豆・コーヒー粉をミルク付バスケットのフィルター内に入れる

- 本体ふたを取り外し、コーヒー豆・コーヒー粉を付属の計量スプーンで、カップ数に応じた量をフィルター内に入れてください。豆の分量はお好みに応じて調節してください。

カップ数に応じた豆の分量

カップ数	豆/粉の量(約)	計量スプーン目安(約)
1	11g	1.5杯
2	14g	2杯
3	21g	3杯
4	28g	4杯
5	35g	5杯
6	42g	6杯



#### ご注意

- コーヒー粉は中挽きを使用してください。
- 中細挽き以下(細挽きなど)を使用すると、フィルターが目詰まりしてコーヒーがあふれたり、できあがったコーヒーに粉が混ざったりします。

4. 本体ふたを閉じ、ガラスサーバーを本体にセットする


- ガラスサーバーふたを閉め、抽出口とガラスサーバーふたの中心部が合うように保温板にセットします。




#### ご注意

- 必ずガラスサーバーふたを閉じてからセットしてください。
- ガラスサーバー表面についた水滴は拭き取ってください。


5. 各種モードを設定します。



ドリップモード設定

- コーヒー豆、または粉からドリップするかを設定します。  
 ボタンを押すごとにディスプレイのアイコンが切り替わり、ドリップモードの切換えが出来ます。


-  コーヒー粉からドリップする
-  コーヒー豆からドリップする場合(1～3杯用)
-  コーヒー豆からドリップする場合(4～6杯用)



仕上げ設定

- ドリップスピードを変えて仕上がりを調節できます。  
 ボタンを押すごとにディスプレイのアイコンが切り替わり、仕上がりの切換えが出来ます。

-  マイルドテイスト
-  ストロングテイスト

保温設定

- ドリップ終了後の保温ON/OFFを設定します。  
 ボタンを押すごとにディスプレイのアイコンが切り替わり、保温のON/OFFの切換えが出来ます。

-  ドリップ終了後、約30分間保温します。30分経過すると、自動的に電源が切れます。
-  ドリップ終了後、自動的に電源が切れます。

※長時間保温すると、香りがとんで風味が悪くなりますので、なるべく早めにお召上がりください。